

阿蘇・中岳～高岳（1,592m）3月30日（土）

～荒涼とした活火山の縁を歩いて山頂へ～

実施日 2019年3月30日（土）

ガイド：井手義人

参加料：7,500円

体力度：3 標高差：約470m

行動時間：約4時間30分

集合場所

金立SA下P 6:30

市役所西 6:45

諸富支所 7:00

みやま柳川道の駅 7:30



阿蘇・高岳山頂

ガイドクラブ：0952-37-0577

当日（井手）：090-1193-4470

<行程>※タイムスケジュールは道路・天候状況などで変わることがあります。

※火山活動で入山規制がかかった場合は登山できないことがあります。

みやま IC 7:35＝益城空港 IC 8:30＝阿蘇山上砂千里P（トイレは下の駅） 10:00～10:30
…砂千里終了点 11:00…中岳 11:50…高岳 12:30 昼食 13:30…中岳 14:00…砂千里
15:00…阿蘇山上P 15:30～16:00＝温泉 16:30～17:30＝益城空港 IC 18:30＝みやま
柳川道の駅 19:30＝諸富支所 20:00＝市役所西 20:15＝金立SA下P 20:00

※お風呂は「阿蘇白水温泉 瑠璃」を予定（☎：0967-62-9999）

<山とコースの概要>

阿蘇の入山規制が2017年3月、3年半ぶりに解除された。阿蘇は活火山の為、立ち入りが解除されているうちに出掛けたいと思います。

阿蘇山上の砂千里入り口の駐車場から歩き始めます。最初は平坦な黒い火山灰地を東側まで横切ります。涸れ沢を渡ると急登の始まりです。火山岩の急坂をしばらく登ると、中岳から派生した尾根の稜線で「砂千里ヶ浜分岐」に出る。赤茶けた景色の中、北に向かって登山道が延びている。荒涼とした風景は活火山ならではのもので、まるで月面を歩いているようだ。中岳までは比較的なだらかな稜線で左側には第一、第二火口が噴煙を上げているが、急な崖になっているので注意して進む。程なく三差路で、左は仙酔峡からロープウェイを使ってくる道（現在通行止め）で、右は高岳に続く道である。中岳へは左へ100mで一本柱の標識がある、山頂は可愛らしいピークだが、展望は雄大で眼下の火口からは蒸気や噴煙が盛んに上がっている。中岳に立ったら高岳に向かおう。三差路まで戻り溶岩で出来た岩の道をジグザクに登っていくと、間もなく噴火後に形成された火口縁のピークである高岳山頂につく。標識は長い間の風雨と落雷のものと思われるひびが走ってる。仙酔峡道路開通は来年度に持ち越しで下山は往路を使って砂千里に戻る。コース全般に樹木は全く無く、荒涼とした景観が続く。時間があれば帰りに加工見物して帰ろう。

装備表

装備品名	チェック	必要度	装備品名	チェック	必要度
レインウェア		◎	地図・コンパス		○
帽子(耳当て)		◎	タオル・バンダナ		○
手袋(防水)		◎	トイレトペーパー		◎
スパッツ		○	ゴミ袋 ビニール袋		◎
防寒具		◎	時計		◎
ストック・ステッキ		○	健康保険証又は写し		◎
ザックカバー		○	デジタルカメラ		△
緊急用品・医療品		○	非常食・行動食		◎
水筒・サーモス		◎	弁当		◎
ヘッドランプ		◎	マグカップ		△
携帯電話		○	軽アイゼン		状況により

※寒の戻りなどで積雪する時があります、アイゼンが必要な時はこちらから連絡します

※樹木が無く隠れる場所が少ないので大きな岩などの陰でトイレを済ませてください。くれぐれも我慢しないように。

<参加の注意点>

- ・料金に含まれるもの＝交通費・ガイド料・入浴料・保険料
- ・含まれないもの＝昼食(お弁当)・行動食・個人の装備など。
- ・参加料は1週間前までをお願いします。
- ・前日の降水確率が50パーセントを超えるとリーダーの判断で中止もあります。その時は必ずこちらか連絡くします。
- ・キャンセルにつきましては、ツアー日の3日前から参加費の50%かかります。当日キャンセルは返却いたしませんのでご了承ください。

